

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

暑くなる予報 (悦)

まだ梅雨に入らず、暑くなるという予報でしたが、木陰は快適。木陰から木陰へ、日向を避けての行動でした。

今日は、サイカチの棘、ニガキの苦さ、アオダモの枝を水に浸けると青く染まる、などを体感しました。



アオダモは染料？(w,k)

アオダモの小枝を水に指しておくときれいな水色になりました。これで染めたら明るい青の布ができるのでしょうか？

草木染の原料としての事例は見つかりませんでした。(悦)

アサギマダラに会えた！ (三)

毎年会うのが楽しみなアサギマダラを見ることができて嬉しかったです。

卵を見つけたのは初めてだったので、感激でした！



優しい甘さ (洋)

一か月で若葉の緑が濃くなっていたり花が咲いていたりして、植物の生命力を感じました。樹々の花については、まだ混乱しています。楽しみにしていたミヤマウグイスカグラの実は優しい甘さを堪能しました。



もう一つの楽しみのコアジサイはまだ蕾だったので、土曜日に行ってみました。高い所が少し咲き始めてました。また、目の前を舞っている蝶がアサギマダラと聞いて慌てて目で追いました。昆虫類も命を繋ぐ為に必死なのですね。

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

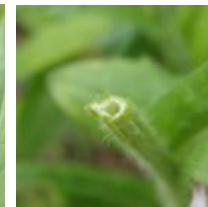
ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、今今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館
茅野市北山 カフェ 午後の森

《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

今咲いているのはハルジオン(春紫苑) (悦)

ハルジオンは 葉は茎を抱く 茎は空洞



夏から咲くのはヒメジョオン 葉は茎を抱かず、茎中空でない。ガイドブックの姫紫苑は間違い！ 姫女苑が正しい。

違いが分かった (園)

春紫苑と姫女苑の違いを教えて頂けて良かったです。2つが違う物だと初めて知りました。ミヤマウグイスカグラの赤い実の味見ができて良かったです。

アオダモのバツ (昭)

話題の大谷選手の使っているアオダモのバツ。過去にはイチローや松井選手も使っていた。然し、今では品薄で現役選手でも、4.5人。勿論メジャーでは1人。また、製品になるまで60年かかり、1本から5本程度。従って、一人年間10本位しか入手出来ないそうです。

アオダモは軽しなやかなので、ボールを長く乗せられユックリ振っているように見える。その為、遠くに飛ばせるが、折れやすい。だから、使い熟するのが難しく、大谷選手も最初はよく折っていたそうです。従って、貴重な資源。もう無くなるのでは！との事です。



6月の昆虫 (悦)

蝶:②109~118

- アサギマダラ
- コムシジ
- ヤマキマダラヒカゲ



●コジャノメ

●ウスバアゲハ

●ミドリヒョウモン幼虫

蛾:②119

●シロシタホタルガ幼虫

トンボ:②127~128

●シオヤトンボ♀



その他

●エゾハルゼミ

5月観察した花 (悦)

- ★ミツバツチグリ①71
- ★ヘビイチゴ①72
- ★ヒメヘビイチゴ未記載
- ★ニガナ①87
- ★キバナノヤマオダマキ①92
- ★フタリシズカ①83
- ★ニガイチゴ①72
- ★モミジイシゴ①72
- ★ウツギ①88
- ★エゴノキ①84
- ★ハクウンボク②77
- ★サワフタギ①74
- ★ヤマツツジ①79
- ★レンゲツツジ①78
- ★ムラサキサギゴケ①75
- ★アヤメ①83
- ★カラコギカエド①132

市民の森の出会い・6月 (矢)

皂莢(サイカチ) マメ科サイカチ属 落葉高木
サイカチは実にサポニンを含み石鹼や生薬(去痰、利尿等)に、また棘は腫ものやりウマチに効くとして、栽培されてきたといひます。カブトムシやカメムシ等もよく来て、人間だけでなく虫たちにも好かれています。



葉先にサイカチマダラキジラミが住んでいました。



宇宙人のような顔の幼虫 羽が生え飛び立つ成虫



花色の変異 (KK)

山もいよいよ花の季節に入りました。ムラサキサギゴケの色の変異が面白く、足元が明るく、美しく、歩くのが楽しくなります。ハクウンボクの美しい白い花に息を飲みました。



季節は確実に夏へ (綾)

新緑がきれいで、気持ちのよい日でした。前回よりも、虫や蝶が多くみられて、季節が確実に夏に近づいていると感じました。観察しながら、ベリーの食べ比べや、アオダモの色実験を見せていただき、楽しかったです。子供たちにも教えてあげたいです。詳しい解説のおかげで、帰り道は、復習しながら歩くことができました！

小ぶりのヘビイチゴ(蛇莓)? これは ヒメヘビイチゴ(姫蛇莓) ところが違う!



こちらはヘビイチゴ

春 (6月)



キバナヤマオダマキ

アオダモの青 (悦)

枝を水に浸けて暫くすると水が青色の蛍光を発します。



オシブミの揺籃づくり (口)

- ①アブラチャンの葉にオシブミ発見。
- ②すでに右側は切り込み完了で左側へ。



落ちない程度に



③葉っぱの両側を丁寧に片側ずつ葉先から両足で押さえて折り線をつける動作、このとき口も何らかの作業をしているようです。折り線が出来上がると下向きにそりかえていた葉っぱのフチが少し上向きなる。

「行きますよー！」

あー呼んでる！

今日の観察はここまで。

このオシブミはヒゲナガオシブミでした。

オシブミの日 (SU)

アブラチャンの葉っぱの上で、首の長い面白い形の虫を発見。オシブミでした。それから45分ほど歩いてからのこと、(口)さんが「オシブミが作業中」と教えてくれました。何という観察眼の鋭さ！やはりアブラチャンの葉っぱの上で、オシブミが長い首を器用にまげて、せせせと揺籃作りをしていました。葉脈の中心線から右側はすでに切断済み、その切れ目に肢をさみ(落ちないように?)左側を切断中、1分ほどで切り込み終了、その後、葉の裏にまわって葉の縁を器用に折りたたむ作業を続けていました。残念ながら、時間の関係で最後まで観察できなかったけれど、(口)さんとオシブミの集中力は、凄かった！